



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月5日
上場取引所 東

上場会社名 芙蓉総合リース株式会社
コード番号 8424 URL <http://www.fgl.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 隆
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 細井 聡一 TEL 03-5275-8800
四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	225,487	6.4	12,287	0.9	14,227	4.2	7,696	14.1
26年3月期第2四半期	212,010	△2.8	12,180	△11.4	13,659	△12.3	6,747	△32.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 6,474百万円 (△75.7%) 26年3月期第2四半期 26,609百万円 (98.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	254.58	252.16
26年3月期第2四半期	223.25	221.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	1,893,982	208,012	9.8	6,163.68
26年3月期	1,851,925	202,636	9.8	6,018.97

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 186,336百万円 26年3月期 181,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	37.00	—	37.00	74.00
27年3月期	—	39.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	6.4	24,000	3.6	26,000	2.4	14,000	7.8	463.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	30,287,810株	26年3月期	30,287,810株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	56,461株	26年3月期	57,720株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	30,230,809株	26年3月期2Q	30,224,317株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビューの手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(重要な後発事象)	P. 9
4. 補足情報	P. 10
(1) 契約実行高	P. 10
(2) 営業資産残高	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、消費増税後の落ち込みから緩やかに回復しておりますが、円安による物価上昇懸念や夏場の天候不順などが影響して個人消費の回復ペースは鈍く、企業の生産活動も減産基調が続いております。

リース業界においては、平成26年9月累計のリース取扱高（公益社団法人リース事業協会統計）は、前年同期比11.4%減少して2兆1,533億円となりました。9月の日銀短観では、企業の設備投資意欲は総じて堅調であり、年度後半に向けて設備投資の増加が期待されます。

このような状況の下、当社グループは、平成26年4月から新たに2014年度～2016年度中期経営計画「Value Creation 300」（以下、「中計」）をスタートさせて、ビジネス戦略・マネジメント戦略に取り組んでおります。中計の3ヵ年で「次なる成長ステージ」を支える土台を作り、リース事業を主体としながらもリース以外の収益増強を図ることで「収益性の高い事業ポートフォリオへの変革」を進めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の契約実行高は前年同期比16.2%増加の3,045億9千6百万円となり、当第2四半期連結会計期間末の営業資産残高（割賦未実現利益控除後）は前連結会計年度末比613億4千7百万円（3.8%）増加して1兆6,605億9千万円となりました。

損益面では、売上高は前年同期比6.4%増加の2,254億8千7百万円、営業利益は前年同期比0.9%増加の122億8千7百万円、経常利益は前年同期比4.2%増加の142億2千7百万円、四半期純利益は前年同期比14.1%増加の76億9千6百万円となりました。

(セグメントの業績)

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントにおける売上高については「外部顧客に対する売上高」の金額、セグメント利益については報告セグメントの金額を記載しております。

〔リース及び割賦〕

リース及び割賦の契約実行高は2,085億4千8百万円と前年同期比0.4%増加し、営業資産残高は前連結会計年度末比0.2%増加して1兆2,784億7千3百万円となりました。リース及び割賦の売上高は前年同期比6.0%増加して2,160億9千8百万円となり、セグメント利益は前年同期比5.9%減少して102億7千5百万円となりました。

〔営業貸付〕

営業貸付の契約実行高は829億5千7百万円と前年同期比61.7%増加し、営業資産残高は前連結会計年度末比14.9%増加して3,549億1千6百万円となりました。営業貸付の売上高は前年同期比7.1%増加して40億6千1百万円となり、セグメント利益は前年同期比13.6%増加して31億7百万円となりました。

〔その他〕

その他の契約実行高は130億9千万円と前年同期比315.6%増加し、営業資産残高は前連結会計年度末比87.1%増加して272億円となりました。その他の売上高は前年同期比21.3%増加して53億2千8百万円となり、セグメント利益は前年同期比24.7%増加して26億5千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の営業資産残高は、前連結会計年度末比3.8%増加の1兆6,605億9千万円となり、総資産は前連結会計年度末比2.3%増加の1兆8,939億8千2百万円となりました。また、調達残高は、前連結会計年度末比5.4%増加の1兆4,478億5千万円となりました。

株主資本合計は、利益剰余金の増加により前連結会計年度末比4.6%増加の1,542億3千万円となり、当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比53億7千5百万円（2.7%）増加の2,080億1千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました数値からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を、期間定額基準から原則として給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、長期国債及び優良社債の平均利回りからデュレーションアプローチによる単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が200百万円増加し、退職給付に係る負債が31百万円減少し、利益剰余金が149百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益が26百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ25百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	72,309	47,821
割賦債権	125,106	127,828
リース債権及びリース投資資産	968,009	968,755
営業貸付金	264,953	310,245
その他の営業貸付債権	42,386	43,313
営業投資有価証券	8,840	20,789
その他の営業資産	1,483	1,623
賃貸料等未収入金	13,497	14,112
繰延税金資産	3,637	3,296
その他	24,417	30,222
貸倒引当金	△7,017	△5,938
流動資産合計	1,517,626	1,562,072
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	184,218	183,257
貸貸資産前渡金	513	513
貸貸資産合計	184,731	183,770
社用資産		
社用資産	6,893	7,575
社用資産合計	6,893	7,575
有形固定資産合計	191,624	191,346
無形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	536	518
貸貸資産合計	536	518
その他の無形固定資産		
のれん	4,756	4,507
その他	2,368	2,590
その他の無形固定資産合計	7,124	7,097
無形固定資産合計	7,661	7,616
投資その他の資産		
投資有価証券	87,132	84,350
破産更生債権等	2,285	2,435
退職給付に係る資産	110	348
繰延税金資産	615	651
その他	45,062	45,374
貸倒引当金	△210	△227
投資その他の資産合計	134,996	132,932
固定資産合計	334,281	331,895
繰延資産		
創立費	0	0
開業費	16	14
繰延資産合計	17	14
資産合計	1,851,925	1,893,982

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,658	25,470
短期借入金	370,721	393,463
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	158,469	169,025
コマーシャル・ペーパー	307,700	374,700
債権流動化に伴う支払債務	27,200	27,000
1年内支払予定の債権流動化に伴う長期支払債務	54,780	49,727
リース債務	125,781	115,552
未払法人税等	6,076	4,959
繰延税金負債	45	53
割賦未実現利益	2,121	1,887
賞与引当金	1,565	1,595
役員賞与引当金	133	61
未経過リース料引当金	4	3
債務保証損失引当金	117	137
資産除去債務	49	—
その他	19,392	16,827
流動負債合計	1,133,819	1,200,466
固定負債		
社債	60,000	50,000
長期借入金	318,391	308,910
債権流動化に伴う長期支払債務	66,669	55,022
リース債務	338	314
繰延税金負債	18,879	18,224
退職給付に係る負債	687	593
役員退職慰労引当金	159	153
メンテナンス引当金	493	590
債務保証損失引当金	1,493	1,402
資産除去債務	220	305
その他	48,136	49,985
固定負債合計	515,468	485,503
負債合計	1,649,288	1,685,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,532	10,532
資本剰余金	10,421	10,421
利益剰余金	126,648	133,374
自己株式	△100	△98
株主資本合計	147,501	154,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,497	31,687
繰延ヘッジ損益	△25	△26
為替換算調整勘定	894	444
退職給付に係る調整累計額	85	0
その他の包括利益累計額合計	34,452	32,105
新株予約権	649	646
少数株主持分	20,033	21,028
純資産合計	202,636	208,012
負債純資産合計	1,851,925	1,893,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	212,010	225,487
売上原価	187,941	201,213
売上総利益	24,068	24,274
販売費及び一般管理費	11,888	11,986
営業利益	12,180	12,287
営業外収益		
受取利息	73	24
受取配当金	555	532
投資事業組合運用益	29	15
匿名組合投資利益	70	86
負ののれん償却額	—	0
持分法による投資利益	301	174
償却債権取立益	73	69
貸倒引当金戻入額	659	1,142
債務保証損失引当金戻入額	—	71
その他	78	64
営業外収益合計	1,842	2,181
営業外費用		
支払利息	190	160
社債発行費	3	3
為替差損	50	—
投資事業組合運用損	33	30
匿名組合投資損失	75	0
その他	8	46
営業外費用合計	363	241
経常利益	13,659	14,227
特別利益		
投資有価証券売却益	—	94
特別利益合計	—	94
特別損失		
投資有価証券売却損	—	0
固定資産処分損	2	0
その他	0	—
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	13,656	14,321
法人税、住民税及び事業税	5,431	4,897
法人税等調整額	409	603
法人税等合計	5,840	5,501
少数株主損益調整前四半期純利益	7,815	8,820
少数株主利益	1,068	1,124
四半期純利益	6,747	7,696

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,815	8,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,709	△1,814
繰延ヘッジ損益	28	△1
為替換算調整勘定	1,053	△449
退職給付に係る調整額	—	2
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△82
その他の包括利益合計	18,794	△2,345
四半期包括利益	26,609	6,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,539	5,349
少数株主に係る四半期包括利益	1,069	1,124

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	リース及び割賦	営業貸付	その他	合計
売上高				
外部顧客に対する売上高	203,826	3,791	4,392	212,010
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,966	186	190	3,343
計	206,793	3,977	4,582	215,354
セグメント利益	10,915	2,735	2,128	15,779

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	15,779
セグメント間取引消去	△3,343
全社費用(注)	△255
四半期連結損益計算書の営業利益	12,180

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	リース及び割賦	営業貸付	その他	合計
売上高				
外部顧客に対する売上高	216,098	4,061	5,328	225,487
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,086	219	188	1,494
計	217,185	4,281	5,516	226,982
セグメント利益	10,275	3,107	2,654	16,037

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	16,037
セグメント間取引消去	△1,494
全社費用(注)	△2,254
四半期連結損益計算書の営業利益	12,287

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間に、ALM 2010 Limited (Fuyo Aviation Capital Europe Limitedに商号変更)の発行済株式の全株式を取得し、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたため、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの発生額は345百万円であります。

(重要な負ののれんの発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

(重要な後発事象)

社債の発行

当社は、以下の条件で普通社債を発行いたしました。

- (1) 銘柄 芙蓉総合リース株式会社第9回無担保社債
- (2) 発行総額 10,000百万円
- (3) 発行年月日 平成26年10月30日
- (4) 発行価格 各社債の金額100円につき金100円
- (5) 利率 年0.298%
- (6) 償還期限 平成31年10月30日
- (7) 資金使途 設備資金に充当

4. 補足情報

(1) 契約実行高

セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間 (平成26年3月期 第2四半期)		当第2四半期 連結累計期間 (平成27年3月期 第2四半期)		対前年同期増減	
		契約実行高 (百万円)	構成比 (%)	契約実行高 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
リース及び 割賦	ファイナンス・リース	167,142	63.7	162,393	53.3	△4,749	△2.8
	オペレーティング・ リース	12,748	4.9	15,397	5.1	2,648	20.8
	リース計	179,891	68.6	177,790	58.4	△2,100	△1.2
	割賦	27,879	10.6	30,757	10.1	2,877	10.3
	リース及び割賦計	207,771	79.2	208,548	68.5	776	0.4
営業貸付		51,292	19.6	82,957	27.2	31,665	61.7
その他		3,150	1.2	13,090	4.3	9,940	315.6
合計		262,214	100.0	304,596	100.0	42,382	16.2

(注) 1. オペレーティング・リースは、賃貸物件の取得価額を記載しております。なお、再リース取引の実行額は含んでおりません。

2. リースについては、当第2四半期連結累計期間に取得した賃貸用資産の購入金額、割賦については、実行時の割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

(2) 営業資産残高

セグメントの名称		前連結会計年度末 (平成26年3月期末)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成27年3月期 第2四半期)		対前連結会計年度末比 増減	
		期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
リース及び 割賦	ファイナンス・リース	968,009	60.5	968,755	58.3	746	0.1
	オペレーティング・ リース	184,754	11.6	183,776	11.1	△978	△0.5
	リース計	1,152,764	72.1	1,152,532	69.4	△232	△0.0
	割賦	122,984	7.7	125,941	7.6	2,957	2.4
	リース及び割賦計	1,275,748	79.8	1,278,473	77.0	2,725	0.2
営業貸付		308,953	19.3	354,916	21.4	45,962	14.9
その他		14,540	0.9	27,200	1.6	12,660	87.1
合計		1,599,242	100.0	1,660,590	100.0	61,347	3.8

(注) 1. 割賦については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

2. 営業貸付に係る資産残高には、「投資その他の資産」の「その他」で表示されている関係会社長期貸付金の残高が含まれております。

前連結会計年度末 1,613 百万円

当第2四半期連結会計期間末 1,357 百万円